

# 花粉発生源対策について

平成28年4月

**林野庁**

# 花粉症対策の推進

- スギ花粉症は、国民の3割が罹患していると言われ、社会的・経済的に大きな影響。
- 「伐って利用」、「植替え」、「出させない」の3本の斧からなる花粉発生源対策を推進し、春季の国民の健康で豊かな生活・経済活動を回復するよう努める。

## 花粉発生源対策「3本の“斧”」

花粉症対策苗木の供給を加速化させ、**H29年度**までに、スギ苗木の年間供給量に占める花粉症対策苗木の割合を、現在の**1割水準**から**過半**にまで増加させる

### 第一の“斧” 伐って利用します

#### ○ 花粉を大量に飛散させるスギ人工林を伐採・利用します。

花粉を大量に飛散させるスギ人工林の伐採を進めます。また、伐採されたスギについては、住宅に加えて、商業施設や公共建築物の木造化等に利用し、資源として活かしていきます。



花粉発生源のスギ立木の伐倒・除去

### 第二の“斧” 植え替えます

#### ○ 花粉の少ない苗木等による植替えや広葉樹の導入を進めます。

花粉症対策苗木の生産増大に最優先で取り組み、スギの伐採跡地への植栽を促進します。また、条件不利地においては、伐採後の広葉樹の導入等を進めます。



少花粉スギ苗木等の生産体制を増強

### 第三の“斧” 出させません

#### ○ スギ花粉の発生を抑える技術の実用化を図ります。

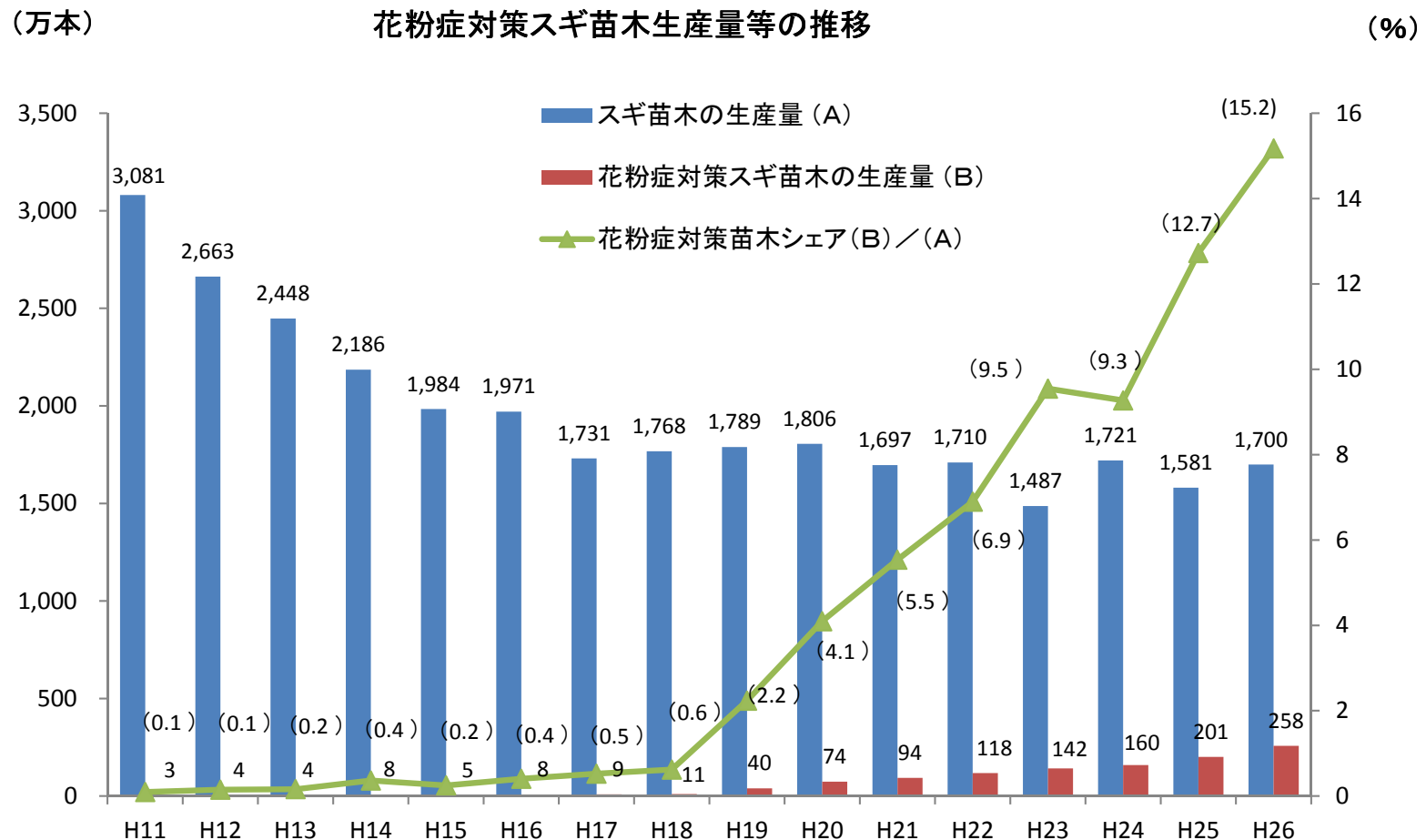
スギ花粉の飛散防止剤の開発・普及等、スギ花粉の発生を抑え飛散させない技術の実用化を図ります。



伐採されたスギ材の利用拡大

# 花粉症対策スギ苗木生産量等の推移

- 林野庁では、これまで花粉症対策品種の開発・生産拡大等に取り組んできたが、スギ苗木の年間供給量全体に占める花粉症対策苗木の割合は約1割という状況
- 花粉症対策苗木の供給を加速化させ、平成29年度までにスギ苗木の供給量に占める割合を現在の1割水準から過半にまで増加させるよう取り組んでいるところ



資料: 林野庁業務資料

# 菌類を活用したスギ花粉飛散防止剤について

- スギの雄花だけを枯死させる菌類を活用して、スギ花粉の飛散を抑制する技術を開発中
- 今後は、飛散防止効果の実証試験や農薬登録するための安全性の調査等に6～7年を要する見込み

## 1 シドウィア・ジャポニカ(カビの一種)

1917年(大正6年)に山形県で最初に発見された菌類であり、その後、2004年(平成16年)に福島県で再発見された。

本菌はスギの雄花に寄生し、雄花だけを枯死させる。スギの花粉を栄養源とし、スギの雄花以外では死滅するため、スギの葉や樹木そのものは枯れない。

雄花が枯死することによって、開花が阻止され、その結果、花粉の飛散が抑制される。



## 2 これまでの研究結果

- ① 菌の培養技術を開発(平成23年度)
- ② 散布用の薬剤化技術を開発(平成24年度)
- ③ 枝への散布実験により雄花枯死効果を確認(平成24年度)
- ④ 本薬剤がスギの生長や他の植物に悪影響がないことを確認(平成25年度)

## 3 現在の研究内容

今年度、菌類の保存等の基本技術の確立に成功し、来年度、実用化に向けた施用マニュアルを作成する予定である。

今後は、飛散防止効果の実証試験や農薬登録するための安全性の調査等に6～7年を要すると見込んでいる状況である。

# 花粉発生源対策の推進

【平成28年度予算額 402(117)百万円】

## 【背景／課題】

スギ花粉症は国民の3割が罹患しているといわれており、花粉発生源対策の推進が必要。  
これまで少花粉スギ等の花粉症対策品種の開発・生産拡大等に取り組んできたが、スギ苗木供給量全体に占める花粉症対策苗木の割合はまだ約15 %という状況。

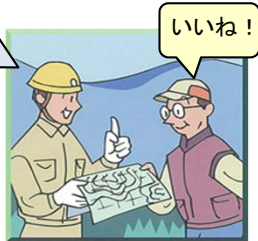
## 【対策のポイント】

花粉症の緩和に向け、スギ林の植替え及び植替えに必要な花粉症対策苗木の供給拡大を加速化

### 1. 花粉発生源の植替えの促進

○スギの加工業者等が行う森林所有者への働きかけ等を支援

伐って花粉症対策苗木に植え替えましょう。



○花粉発生量推定のための調査  
○花粉発生源に係る普及啓発活動



### 2. 花粉症対策苗木の需給拡大

○採種園等の造成・改良等



○花粉症対策苗木の種子の生産拡大



○コンテナ苗生産施設等の整備を支援



○花粉症対策品種等のコンテナ苗の生産や利用の拡大に取り組む協議会を支援



○生産技術習得・向上の取組を支援



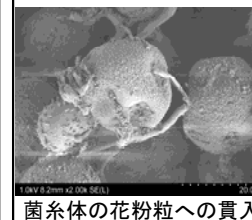
○花粉症対策苗木に対する需要の喚起を図るため、花粉発生源の立木の伐倒・除去及び花粉症対策苗木等の植栽を支援



### 【関連対策】

スギ花粉飛散防止剤の製品化や効果的な散布手法の開発等

〔農林水産・食品産業科学技術研究推進事業〕



菌糸体の花粉粒への貫入

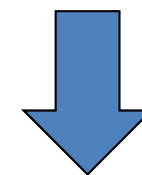


散布液により枯死した雄花

### 【目標】

スギの花粉症対策苗木供給量

258万本  
(平成26年度)



1,000万本  
(平成29年度)